

次代の都市空間を提案し、地域活性化にも注力 価値あるライフスタイルを提供する注目の不動産会社

都心の洗練された物件を中心に、次代の都市空間を提案し続けている不動産会社『TRUST ONE』。ハイテクオリティな物件の売買・仲介・リノベーションを通じて、価値あるライフスタイルを届けるその姿勢は、業界内でも注目を集めている。本日は、そんな同社をタレントのつまみ枝豆氏のつまみ枝豆氏が訪問。頼れるスタッフたちと共に力強く歩みを進める、小海社長にお話を伺った。

——まずは、小海社長の歩みから伺います。

東京の下町の出身です。私たち家族が生まれ育ったのはボロアパートだったのですが、父は勉強を一生懸命頑張ってきた人で、やがて自分で不動産事業を立ち上げ、経営するようになったのです。

——努力家のお父様をお持ちですね。社長は、社会に出てからのような道を歩んでこられたのでしょうか。

『野村不動産ソリューションズ』にて、『レリア東京』の立ち上げメンバーとして参画し、富裕層対応に従事。その後、『ゼニアス』にて年間100億円超の都心区分マンションの買取再販案件に関与しました。社会人として初めて入った職場は厳しい環境で、毎朝4時に起きて始発で出社し、夜は11時まで勤務するなど、ほとんど自分の時間を取れない日々でした。さらに『電話を取る』という業務一つとってもできる限りスピーディーに行わなければならず、大変でしたね。それでも、そんな環境だったからこそ相当鍛えられましたし、学びになったこと

が非常に多かったと感謝しています。

——いずれはお父様の事業を継ぐおつもりだったのでしょうか。

はい。まずは外で経験を積んでから、父の会社に入るつもりでした。ですが、リーマン・ショックの影響が数年遅れてやってきて、父の会社が倒産してしまっただけです。予定が狂ってしまいましたが、その流れの中で『TRUST ONE』を設立しました。社名は、父の名前である「信一」から取っているんです。そして父が社長を務める形でのスタートでした。

——それは、お父様もさぞ嬉しかったでしょうね。

また、当社の沿革を語る上では、高校時代からの友人である矢部（副社長）の存在も欠かせません。彼のお父さんはいくつも事業を持っていたそうなのですが、幼い時に事故で亡くなり、彼が高校生の時には会社も畳むことになり、全てを失ったんです。そのことを彼は、私にだけ打ち明けてくれて。私はどんな時でも

冗談めかさずにはいられないタイプで、その時も

つい同じように接してしまっただけですが、彼はそれを咎めることもなく、変わら

ず付き合ってくれました。そして、私が勤めを辞めて当社の事業に移行することを決めた時には、「自分も『TRUST ONE』に行くよ」と言ってくれたんです。彼は銀行畑を歩んで順調にキャリアを積み、かなり良いポジションに就いていましたし、年収も相当なものでした。だから不思議に思っ

て、「どうしてうちに？」と尋ねたところ、「高校のころに『いつか一緒に仕事をしよう』って言ってたじゃないか」と。正直、私はすっかり忘れていたのですが、彼がその言葉を覚えていてくれたことが嬉しかったですね。

——まさに信頼で結ばれた関係ですね。では、お二人が事業の中心になっているのでしょうか。



ゲストインタビューアー

つまみ枝豆

1958年6月1日生。趣味は車、ゴルフ。ビートたけしの弟子で構成される「たけし軍団」のメンバー。タレント活動の他、映画『3-4x10月』『HANA-BI』『座頭市』、テレビドラマ『おひさま』『龍馬伝』『隠密八百八町』など、俳優としても活躍。また怪談の語り手としても活動している。

代表取締役 CEO

小海 秀勇

『野村不動産ソリューションズ』にて、都心の高額不動産専門組織「レリア東京」の立ち上げメンバーとして参画し富裕層対応に従事。その後、『ゼニアス』にて年間100億円超の都心区分マンションの買取再販案件に関与した。豊富な経験を蓄積した後、『TRUST ONE』を設立し、不動産仲介・買取再販事業をスタートするに至った。



対談を終えて

『TRUST ONE』さんはとても和やかな会社で、私も楽しい時間を過ごすことができました。小海社長は色々な話題で盛り上げてくれるお話好きな方ですが、不思議とその言葉に嘘がないと感じられるんです。そうした率直さ、裏表のなさが魅力ですし、だからこそ多くの方が社長に信頼を寄せているのですね。

the Column

▼小海社長は非常に快活で、会話を盛り上げるのが巧みな人物である。対談中も終始笑いが絶えず、和やかな雰囲気に包まれていた。普段から笑顔を絶やさず、周囲を明るくする存在であるため、自然と人が集まってくる。その人柄に惹かれて現在の頼れるスタッフたちも社長のものと集い、共に事業を支えるようになったのだろう。

▼一方で、社長は切り替えの早さにも定評がある。ひとたびギアが入れば一気に本気モードとなり、矢部副社長をはじめとするメンバーが「日中の営業だけで、これほどの数字を出すとは」と舌を巻くほどの成果を挙げている。朗らかな人柄と、仕事における集中力。そのメリハリもまた、社長の大きな強みだ。

——ほう。どのような事業をと考えておられるのでしょうか。

お世話になった思い出の場所で街づくりや地域おこしに取り組み、人が集まる場所

を作りたいと考えています。具体的には、社会人になってからずっと通っている麻布十番や、私の地元である下町エリアで行い、地域を活性化していきたいですね。私自身、街づくりや地域活性化には以前から関心を持っていましたし、矢部もこの分野には興味を持っていてくれてるんです。

——素晴らしい構想ですね。御社の成長がますます期待されます。

ありがとうございます。ただ、実は「会社を大きくしたい」という気持ちはあまりなくて、それよりもグループ会社をどんどん増やしていきたいんです。当社で正社員として働いてくれている人が、自分の得意分野で事業を始め、やがて独立して横に広がっていきけるような仕組みが理想です。そのため、当社では副業もOKにしています。不動産業でしっかりと利益を確保しながら、他の分野にも挑戦していきたいですね。私と矢部は高校時代はスポーツクラスの同

級生で、私がバスケットを、矢部が柔道をしていたのですが、二人とも大きな怪我があって、スポーツの道は諦めたんです。それで同じ境遇のアスリートを応援したいという想いがあり、独立リーグの野球チームや全日本柔道連盟のスポンサーなど、社会貢献活動も積極的に進めていきたいと考えています。

——企業としての体力があるからこそできることですね。

もう一つ、私たちが目指しているのは「時給が一番高い会社」になることです。そして限られた時間の中でもしっかりと成果を出し、報われる仕組みをつくっていききたいと考えています。実際、現時点でも当社の給与体系はかなり高待遇だと自負していますし、スタッフがしっかりと稼げて、楽しく働ける会社であり続けたいですね。



TRUST ONE

東京都港区六本木 7-7-7

Tri-Seven Roppongi 8 階

URL : <https://trustone777.com>